

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所ぐらび			
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 12日		～	令和7年 3月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数)	12
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 12日		～	令和7年 2月 12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数)	3
○訪問先施設評価実施期間	令和7年 1月 12日		～	令和7年 2月 12日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	11施設	(回答数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 17日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	作業療法士による包括支援	学校・家庭など関わっている施設全体への共有を行い最適な支援を提供しています。先生方に対しての、間接的な支援も行っております。	訪問支援の記録の共有を円滑に行う為の措置を考慮中。
2	授業中～昼休みなど多岐にわたる支援	個々の児童に合わせたオーダーメイドの支援を行っています。お友達との遊びに対しての支援も行っています。	訪問支援員を増やしていきながら、より行ける頻度・時間を増やしていく。
3	不登校児も対応した支援	放課後等デイサービスと協力しながら、再登校出来るよう、支援していきます。	同上

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援員不足	訪問支援員と放課後等デイサービスの職員を兼務している為	訪問支援の需要増加に伴い、職員増強を図る。
2	訪問支援員の属人化	知識・経験が訪問支援員によってばらつきが出てしまっている。	研修の充実化を図るとともに、ケース会議を行いながら実践に近い研修も導入していく。
3	訪問可能日時の限局性	利用が早い児童によって、訪問可能日時が埋まっていくこと。	訪問支援員の採用と、研修などを通して、訪問可能な人員を拡充していく。